

現行の新世紀とやま文化振興計画

- H8 **富山県民文化条例の制定**、H10 富山県民文化計画の策定
⇒ 国の文化芸術振興基本法の制定 (H13.12) に先駆けた取り組み

計画策定から8年以上経過、グローバル化や少子高齢化 格差拡大、市町村合併の進展など

- H18 「新世紀とやま文化振興計画」の策定
 - ・ 目標：富山から世界に、人と文化の輝く『元氣とやま』の創造
 - ・ 施策の3つの柱
「文化活動への幅広い県民の参加」「質の高い文化の創造と世界への発信」「文化と他分野の連携」
 - ・ 計画期間 H18～H27年度 10年間

計画策定から6年が経過、特色ある地域文化への関心の高まり、本県出身の芸術関係者の活躍や世界的な金融・経済危機の発生に伴う文化行政の見直しなど

- H24 計画の改定
 - ・ 3つの視点「人材の充実」「グローバル化への対応」「ふるさとへの誇りや愛着の涵養」
 - ・ 県民の視点に立った成果重視、県民と目標を共有し協働で文化振興に取り組む計画
 - ・ 計画期間 H24～H33年度 10年間

今回の計画改定の背景

- ・ 「とやま新時代」に対応した新たな総合計画の策定（現在審議中）
- ・ 「とやま未来創生戦略」(H27.10)、「富山県経済・文化長期ビジョン」(H28.9)策定

国の動き

- ・ 地方創生の推進（2014.12「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定）
- ・ 人口減少社会への突入（2015 国勢調査）、一億総活躍社会の推進
- ・ 2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、訪日外国人の増加
- ・ 第4次産業革命を通じた経済社会構造の変革
- ・ 東日本大震災、熊本地震を踏まえた強靱な国土づくり など

【文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）】
 ・ 対象期間：2020年度までの6年間（H27～32年度）
 ・ 地方創生、2020年東京大会、東日本大震災等の諸情勢の変化を踏まえた文化政策の方針の明示
 ・ 我が国が目指す「文化芸術立国」の姿を明示

県内の動き

- ・ **北陸新幹線の開業**（開業前3倍の乗車人員、観光客の増加、企業立地）
- ・ 陸・海・空の交通基盤整備（並行在来線の経営安定、東北自動車道の付加車線化決定、伏木富山港の機能強化など）
- ・ 地方創生戦略による人口減少対策の進展（自然減の歯止め、社会増へ転換）、働き方改革の推進
- ・ 富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ」加盟、G7富山環境大臣会合の開催
- ・ 約400億円の財政構造赤字ゼロ、長期借入金残高が約半世紀ぶりに減少 など

【県の文化行政施策、事業展開等】

富山県美術館の全面開館(H29.8)、国際北陸工芸サミットの開催(H29.11)、大伴家持生誕1300年記念事業(H27～H30)、高岡御車山祭、魚津タテモン行事、城端神明宮祭の曳山行事を含む「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産への登録(H28.12)、県民会館リニューアルオープン(H27.3～)、県立文化施設の計画的修繕による魅力アップ(H25～) 利賀芸術公園におけるアジアを代表する舞台芸術の拠点づくり(H26～利賀アジア芸術祭など) とやま世界こども舞台芸術祭の開催(H24.8、H28.8)、高志文学館開館(H24.7) など

これまでの審議経過

＜平成27年度＞

3月30日

- **富山県文化審議会の開催**
 <計画改定について諮問>
 ・ 新世紀とやま文化振興計画の改定
 ・ 県民アンケート調査項目の検討

＜平成28年度＞

5月～

- 県民アンケート調査の実施

8月～

- 芸術文化団体、NPO等ボランティア団体、メセナ企業へのアンケートの実施

11月10日

- **富山県文化審議会の開催**
 ・ アンケート調査結果報告
 ・ 改定計画（骨子たたき台）の審議

＜平成29年度＞

7月4日

- **富山県文化審議会の開催**
 （中間報告（案）について審議）

【今回の計画改定のポイント】

- 計画の目標、施策の3つの柱等は継承し、さらなる充実を目指す。
- 計画期間 平成38年度を目標年次とし、概ね10年程度を見通した計画とする。
- 文化振興のための「4つの視点」を導入

○ 新たな価値創出 ○ グローバル新時代 ○ ふるさと ○ 人づくり

- ・ 現在、新総合計画の策定においては、今後の県づくりの目標に向かって諸政策を展開するにあたり、常に中心に据えながら取り組んでいく視点として、現行計画を踏まえつつ、富山県経済・文化長期ビジョンで示した視点を活かし、4つの視点を提示している。
- ・ いずれの視点も文化の振興にあたって不可欠なものであり、本計画の見直しにあたっても同様に4つの視点を掲げることとする。

- 新総合計画や富山県経済・文化長期ビジョンの10の構想を踏まえた重点施策を追加

- アートとデザインをつなぐ場の創出
- KOGEIの魅力の世界への発信
- 文化施設や文化財等を拠点とした観光の活性化
- 国内外の文化的多様性にあふれたまちづくりの推進
- 文化力を活かしたものづくり産業の高付加価値化 など

- 1 アート・デザイン県とやまの創出
- 2 未来へ示すクリエイティブな文化（クールトヤマ）の形成
- 3 海・山近接の富山の魅力を活かした「中山間ニューライフコミュニティ」の形成による里山振興
- 4 世界への発信による「とやまの文化GDP」の拡大
- 5 舞台芸術拠点「TOGA」による地域の活性化
- 6 富山サポーターグローバルネットワークの構築
- 7 とやま食文化の振興・展開
- 8 学校と地域でつくる文化の担い手育成
- 9 芸術文化活動を通じた県民総活躍の場の創出
- 10 文化芸術資源をもとにした文化芸術クラスターの形成